

景況レポート

No.146

2024年1月～3月期



北見しんきん

〒090-8711 北見市大通東1丁目2番地1
電話(代) 0157-24-7531
URL: <https://www.shinkin.co.jp/kitami/>
本レポートはホームページでもご覧になれます。

景気動向

道内景気

日本銀行札幌支店が4月1日に発表した3月の企業短期経済観測調査結果(短観)によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数(DI:「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値)は全産業で『13』となり、前回の調査『12』から改善しました。内訳では、製造業(前回2→今回9)は改善、非製造業(前回14→今回15)も改善でした。2024年6月までの全産業での先行き予測は6と、悪化の見通しです。

また4月1日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、持ち直している。公共投資は、高水準で推移している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、着実に増加している。観光は、回復している。設備投資は、持ち直している。輸出は、下げ止まりつつある。住宅投資は、減少している。生産は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

【公共工事請負金額】 前年を上回った。

【個人消費】 百貨店は、回復している。スーパーは、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに増加している。コンビニエンスストアは、増勢が鈍化している。ドラッグストアは、増加している。家電販売は、緩やかに持ち直している。乗用車販売は、弱含んでいる。サービス消費は、回復している。

【観光】 回復している。

【新設住宅着工戸数】 持家、分譲は、減少している。貸家は、緩やかに持ち直している。

【生産(鉱工業生産)】 横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。主要業種別にみると、食料品、金属製品は、横ばい圏内の動きとなっている。電気機械は、持ち直しの動きが一服している。輸送機械は、弱めの動きがみられる。

【雇用・所得情勢】 緩やかに改善している。

【消費者物価(除く生鮮食品)】 前年を上回って推移している。なお、前年比伸び率は前月比拡大した。

【企業倒産】 増加している。

地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDI値は、売上高が▲20と6ポイントの悪化、収益も▲24と6ポイントの悪化でした。直前3ヵ月と比較した今後3ヵ月の見通しでは、売上DI値は7、収益DI値は2となり、改善の見通しとなっています。